連合高知

JTUC

<発行所>連合高知
日本労働組合総連合会高知県連合会
〒780-0870 高知市本町４丁目1-32
こうち勤労センター内
TEL(088)824-5111
FAX(088)824-3002
<発行責任者>折田晃一
No.125 2020年２月20日

連合高知第61回地方委員会・闘争開始宣言集会

社会全体の賃上げを！

時給1100円以上、勤続17年相当1700円以上を！

連合高知は２月12日、高知会館で第61回地方委員会を開催し、2020春季生活闘争の方針を確立した。

開催にあたってあいさつした折田会長は、「景気はここへきて停滞感をみせているが、だからこそ春闘は重要だ。この闘いによって内需を拡大し、経済の自律的成長と社会の持続性を実現しよう。そのためにも分配構造の転換につながり得る賃上げを取り組んでいこう」と檄を飛ばした。

安倍一強政治の打破を！

また、政治闘争について「いつ解散が打たれても不思議ではない。持続可能で包摂的な社会を創り出すためには、安倍一強政治を打破しなければならない。そんな中、野党には自公政権に代わる社会の将来像とその道筋を示すことを求めたい。そのうえで、連合高知は現職の広田一、武内則男両衆議院議員と当選に向けて、組織の総力を挙げた闘いを展開する」と決意を語った。

格差是正に資する賃金要求

議案では、統一要求基準額を12,600円に、時間額要求は「規模間格差や雇用形態間格差の是正を目的に“社会横断的な水準”として、最低到達水準1,100円以上、勤続17年相当で1,700円以上を要求」することを決定した。また、すべての労働者の立場にたった働き方の見直しに関しては、長時間労働の是正と均等待遇の実現を中心に、“法を上回る改善と子会社・関連会社の労働者を含めた取り組みの推進”を確認した。

連合高知2020春季生活闘争方針〈賃上げの概要〉

《月額要求》平均要求額**12,600円を基準**

《時間額要求》

① 時給引き上げの取り組みは、中小組合やパート・有期・契約等で働く者の賃金を“働きの価値に見合った水準”へと引き上げることを目的（格差是正）として取り組んでいく。

② その水準は、格差是正に資する「社会横断的な水準」として、

ⅰ．企業内最低賃金協定において**最低到達水準1,100円以上**

ⅱ．目標水準として**勤続17年相当で時給1,700円以上**、をめざすことにする。

《企業規模・地域間格差是正に資する社会横断的な賃金水準の設定について（格差是正）》

目標水準	最低到達水準
35歳：287,000円 30歳：256,000円	35歳：258,000円 30歳：235,000円

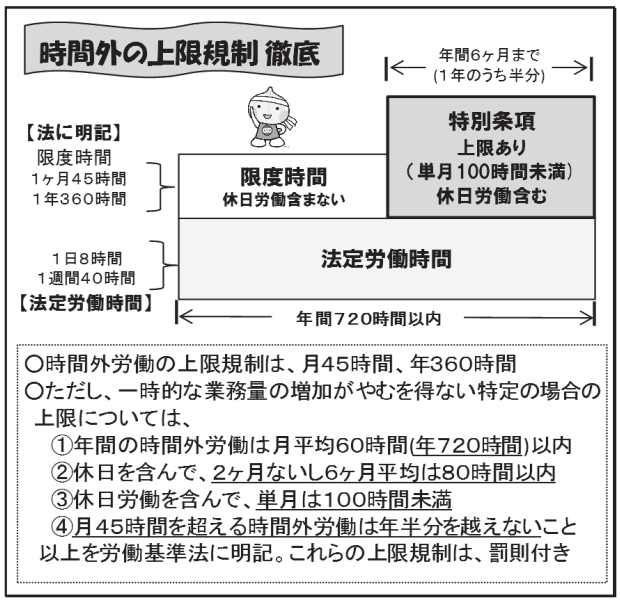
労働時間の客観的な把握・管理

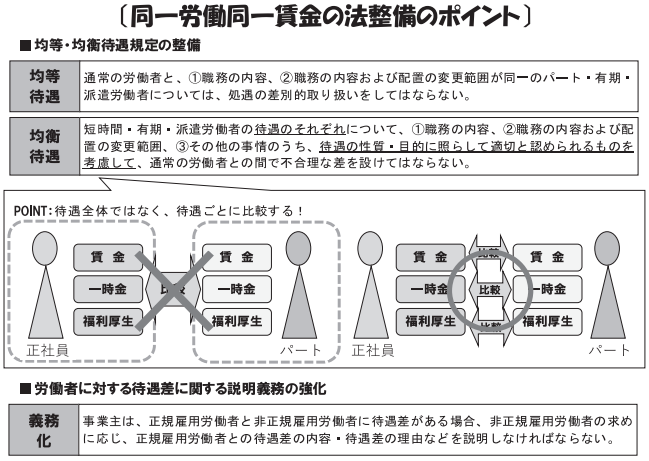
残業時間の上限が機能するには、働いた時間をタイムカードやICカード、パソコンの使用時間の記録などの方法で、客観的に把握・管理することが重要です。

2017年１月にガイドライン「労働時間の適正な把握のために使用者が講ずべき措置に関するガイドライン」が策定されました。

パワハラのない社会を

特別報告では、市川地域ユニオン委員長から高知さくら会計支部の闘争報告があった。その中で市川委員長は「現在、連合高知のホームページに掲載している記事の削除を求める仮処分申請が使用者側から出されている。一方、労働側は組合員４名を原告とする“安全配慮義務違反および不法行為を理由とする損害賠償請求”を２月４日、提訴した。これから裁判闘争に入っていくが、この闘いは労働組合活動に対する不当労働行為を糾弾するとともに、何がパワハラ・嫌がらせとなるのかを明らかにしたうえで、社会全体の職場環境の改善につなげていく闘いだ」と訴えた。





地場春闘が本格化

当日の夕刻おこなわれた“闘争開始宣言集会”には組合員184名が結集。運輸労連高知県協議会 程岡範人 議長とJR四国労組高知支部 井村光明 副執行委員長の両名から決意表明を受けた後、田鍋副会長の団結ガンバローで地場春闘の開始の鐘を鳴らした。

闘 争 開 始 宣 言

2020春季生活闘争がいよいよスタートする。私たちは本日、第61回地方委員会を開催し、「月額要求12,600円、時間額要求として時給1,100円以上」とする統一要求基準額をはじめとした2020春季生活闘争方針を確立した。

現下の日本は、超少子・高齢化に伴う人口減少と労働力不足の中にあっても、ゆるやかな経済成長を続けているが、先行きについては、米中対立による貿易摩擦を背景とした世界経済の減速、第４次産業革命などによる産業構造の変化、膨らみ続ける社会保障費など、経済・社会の持続性確保にむけた不透明感が漂っている。

一方で、働く者の処遇については、この数年、全体的には賃上げを実現・継続してきたが、約20年間で広がった企業規模間や雇用形態間などの格差はいまだ根本的改善に至っておらず、生み出された成果に対する分配に歪みが生じている。

私たちがめざす「経済の自律的成長」と「社会の持続性」を実現するためには、こうした危機感を共有した上で、個人消費による内需の拡大とすべての労働者の将来不安の払拭につながる「人への投資」、すなわち「分配構造の転換につながり得る賃上げ」が必要である。

そのためには、健全な労使関係の輪を隅々まで広げるとともに、働き方も含めた「取引の適正化」の重要性をあらゆる機会を捉えて、社会全体に訴えていかなければならない。

連合高知の結成から30年。私たちは、先達が積み上げてきた春季生活闘争の流れを継承しつつ、将来に向けての基盤を築いていくためにも、組織内だけでなく、すべての働く者の処遇改善につながる「みんなの春闘」に果敢に挑戦していく。

「私たちが未来を変える！すべての労働者の『底上げ』『底支え』『格差是正』と働き方の見直しで！」を合言葉に、組織一丸となって最後の最後まで闘い抜くことを誓い合おう。

連合高知は、ここに2020春季生活闘争の開始を宣言する。

2020年２月12日
連合高知　2020春季生活闘争　闘争開始宣言集会

連合高知2020年旗開き

闘春！安心社会に向けて！

“分配構造の転換”と“働き方改革の具体化”を

連合高知は１月８日、新春恒例の旗開きを城西館で開催した。この旗開きは連合高知結成30年の節目を迎えて初の開催となり、組合員346名、来賓87名が参加。それぞれが向こう１年の闘いに向けた決意を固めあった。

開催あたり折田会長は「連合高知は安心社会とディーセント・ワークを守り、創り出すという目標を掲げて、その実現に向けて全力をあげる」と新年の抱負を語った。また、これから本格化する2020春季生活闘争について「株主に厚く労働者に薄い歪んだ分配構造の転換につながる賃上げと、パート・有期労働者の抜本的処遇改善のための働き方改革の具体化に取り組んでいく」と運動の基調を述べた。そのうえで、「格差と貧困の解消に向けて、それぞれの組織で現場からすべての労働者の処遇改善と未組織の仲間の組合結集を進めてほしい」と呼びかけた。政治課題については「持続可能で包摂的な社会を創り出すためにも安倍一強に終止符を打つべく、現職の広田一、武内則男両衆議員の勝利に向けた闘いを展開しよう」と訴えた。

来賓あいさつには、濱田省司高知県知事、岡﨑誠也高知市長、広田一・武内則男両衆議院議員が立ち、それぞれの立場からのあいさつをいただいた。その後、古田宏昌労働局長の乾杯の音頭で宴がはじまり、参加者お互いの親交をあたためた。

毎年恒例のラッキープレゼントでは、加湿器付き空気清浄機を目玉景品に総数215個の景品の抽選をめぐって会場が沸き立った。

連合高知30周年記念行事

生きていることが大事

連合高知は、30周年記念行事の一環として高知県労福協と共催で「助けてと言える社会へ～無縁社会と家族機能～」と題する記念講演を１月18日、高知会館でおこなった。

この講演では北九州市で生活困窮者自立支援活動をしている奥田知志 NPO法人抱樸理事長を講師に、共生地域の創造に向けた家族機能の社会化の必要性について提起を受けた。

講師は、ひきこもりや社会的孤立といったことが社会問題としていわれる現代にあって、「わたしたちは“生きていることに意味がある”というところまで戻って考えていかなければならないのではないか」と問いかけたうえで、NPO法人抱樸の成り立ちと取り組みの経過を語りながら、「他者との関係の重要性」や「ハウスレスは生活困窮状態だがホームレスは帰るところがないという社会的孤立の状態。生活環境から社会的孤立の状態に陥り、それがまた生活環境を悪化させるといった負のスパイラルを断ち切る支援が必要だ」と述べた。その具体的な取り組みとして、経験を交えながら「自己責任という風潮が強まる中で、人と関わるこ

とで生きる意味付けを見出すことや、人に頼って生きることが大事だ。そのためには家族機能の社会化が今の社会には必要だ」と共生社会に向けた課題を語った。

会場からは、「生活困窮者への居住支援の進め方」や「行政のかかわり方」などの質問が出された。これについて講師は「居住支援については、貸主を安心させるために、困窮者に対する社会的な家族機能が大事になる。行政のかかわりに関しては、すべてを国家に任せるのはいかがかと思うが、NPOを含めてそれぞれに役割がある」と答えた。

"36協定"って何でしょう？

そもそも法律で定められている労働時間は原則
「1日8時間　1週40時間」です。
それを超えて残業させたり休日出勤させられる場合は、
"36協定（サブロク）"を結ばなければなりません。

誰と誰が結ぶの？
36協定は使用者と労働組合※が協議して締結します。
※ 労働者の過半数を組織している労働組合、それがない場合は労働者の過半数を代表する過半数代表者。

書面を労働基準監督署長に届けなければなりません！

適正な36協定で**長時間労働、不払い残業**の問題を**解決しよう！**

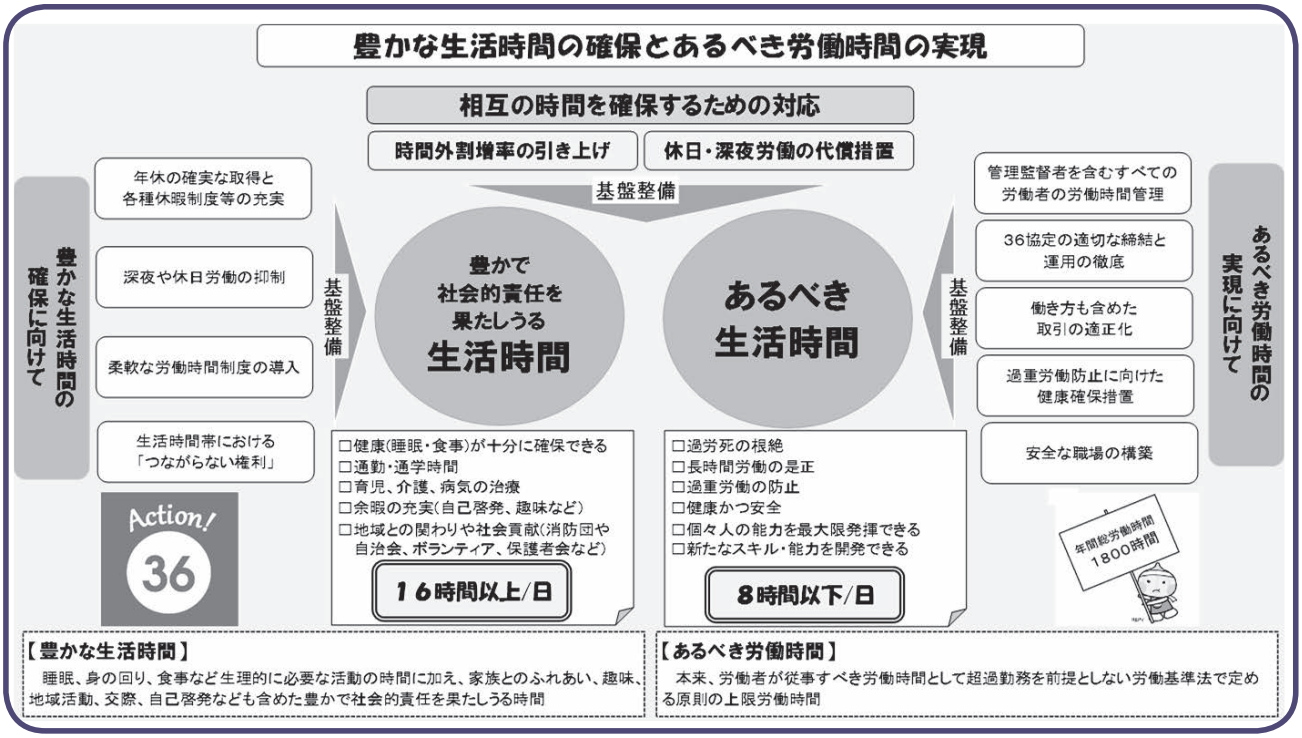
「月100時間以上残業している」
「会社都合で突然残業を命令される」
など、多くの企業で、法律で定められた最低のルールすら守られていない実態が明らかになっています。こうした問題の解決には**適正な36協定**の存在が不可欠です。

連合高知「第18回囲碁・将棋大会」
日頃の腕前を競い合う！

新春恒例の連合高知第18回囲碁将棋大会が1月11日、高知市勤労者交流館でおこなわれた。この大会には、各構成組織の組合員や退職者総数68名が参加。それぞれが日頃の腕前を競い合う盤上の熱戦を繰り広げた。会場のあちこちでは、「う～ン、こりゃ～ぁ」といったうなり声まじりの感嘆の声や、対戦者同士の打ち手の振り返りの光景がみられた。対局の結果は下記のとおり。

[囲碁の部]
《個人戦》
優　勝　中谷 達美さん（とさでん交通退職者の会）
準優勝　島本 健三さん（高知市退職者会）
《団体戦》
優　勝　NTT労組退職者の会
（松本 安正さん、上村 隆男さん、川谷 弘一さん）
準優勝　高知県職員退職者会A
（浦田 博幸さん、村上 次男さん、田所 稔さん）
第三位　高知県職員退職者会B
（岡﨑 健さん、武市 瑞穂さん、川島 博海さん）

[将棋の部]
《個人戦》
優　勝　筧 翔太さん（土佐市職労）
準優勝　池 優さん（高知県職員退職者会）
第三位　青木 幹夫さん（高知県職員退職者会）
《団体戦》
優　勝　高知市職労A
（吉永 有佑さん、那須 和行さん、都築 積代さん）
準優勝　高知県職員退職者会C
（須藤 明さん、入交 隆さん、文野 道景さん）
第三位　高知市職労B
（森本 健二さん、西川 博文さん、中澤 文雄さん）

連合高知「第91回メーデー高知県中央大会」

日　時　2020年4月29日（水）10：00～
場　所　高知市城西公園